

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	中心市街地活性化推進事業	会計名称	一般会計		担当課	経済雇用戦略課	
		予算科目	7 款 1 項 6 目	事業番号	3340	所属長名	小笠原幸男
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	池富隆博	
法令根拠等	中心市街地活性化法				実施期間	【開始】	令和/平成 18 年度
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造 活力ある商業・工業の振興					【終了】	令和 年度(予定) ■ 設定なし
総合計画における本事業の役割	中心市街地の衰退の象徴たる商店街の衰退を食い止めるために、さまざまな施策を行う。						
事業の対象	市民・市内商工業者・伊予商工会議所・伊予市商業協同組合			事業の目的	魅力ある商店街を目指して、まちづくり3法の改正に伴う中心市街地活性化基本計画の策定を視野に入れて、事業内容等について伊予商工会議所、商業協同組合、(株)まちづくり郡中等が核となって、中心市街地の活性化を図る。		
事業の内容(整備内容)	JR伊予市駅前街の交流拠点『町家』を核とした、中心市街地の活性化(商店街の賑わいの回復)及び市街地の整備・改善。お年寄りに優しい町づくりモデル事業の推進。新規創業者への支援。			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	3年度予定	9月末の実績	3年度実績
直接事業費	2,029	2,047	0	0	0	2,021	いっぶく亭事業実施回数	事業	5	5	8	13
財源内訳						0						
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0	来良夢利用回数	回	137	140		107
一般財源	2,029	2,047	0	0	0	2,021						
職員の人工(にんく)数	0.07	0.00				0.00	商店街店舗数	店舗	88	90	94	93
1人工当たりの人件費単価	7,812	7,841				7,841						
※ 直接事業費+人件費	2,576	2,047				2,021						
主な実施主体	伊予市商業協同組合・(株)まちづくり郡中		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		補助金(2,009千円)、消耗品費(38千円)							
向こう5年間の直接事業費の推移(千円)					4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年間の合計		
					2,047	2,047	2,047	2,047	2,047	10,235		
成果指標	指標	商店街の空き店舗数	単位	件	⇒	区分年度	前年度	3年度	4年度	目標	毎年度	
	指標設定の考え方	中心商店街のコミュニティ形成のためには、空き店舗数の減少が地域の再生に繋がると考えるため。				目標	20	20				
	指標で表せない効果					実績	34	41				

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)												
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業成果・工夫した点	中心市街地商店街を訪れた方が休憩を兼ねて地域の魅力を知ることができる交流施設の運営に合わせ、郡中の様々な魅力や個人商店の魅力を紹介するための情報発信活動などに対して補助するとともに、関係者と適切に情報交換を行った。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B				
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業の苦勞した点・課題	各種事業の実施主体団体の中心メンバーの高齢化が進んでいることもあり、次世代への継承についても支援していく必要性を感じている。			
		コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3							
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3							
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D			A	事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業継続と判断する。</li> <li><input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する</li> <li><input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する</li> </ul> (判断の理由) 中心市街地の賑わい創出のため、事業の継続が必要であると判断する。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4						
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B					
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3							
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3							
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	所属長の課題認識	関係団体との連携協力、地域住民の参画促進等を推し進め、中心市街地の賑わい創出に向け、各種事業の効果的実施に取り組む必要がある。				
	コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3								
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3								

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	